

9741

自昭和十八年十二月一日  
至昭和十九年二月十九日

一海上護衛隊  
抜萃

戦時日誌  
IKey

昭和十八年十二月  
至昭和十九年二月

昭和二十三年五月防犯研究所戦史室貼付

1 Dec 1943 -  
29 Feb 1944

(6)

1726

大東亞戰爭

功績調査資料綴

海軍功績調査部

1227

保築

第一海上護衛隊司令部

第一海上護衛隊戰時日誌

板

自昭和十八年十二月一日  
至昭和十八年十二月三十日  
至昭和十九年一月二十九日

軍務部

功績調査部長殿

第一六號 五

月三十一日送付



19.2.28

目次

- 一 経過
- 二 人員、現状
- 三 令達報告等
- 四 参考
  - (一) 戦訓
  - (二) 寫真
- 五 作戦経過概要
- 六 會計経理

(目次終)

自昭和十八年十二月一日  
至昭和十八年十二月三十一日

第一海上護衛隊戰時日誌

一 經過

(一) 敵情

(イ) 前月ニ同ジ

(ロ) 敵潜水艦情報(覽圖參照(別圖第一))

(二) 我が軍ノ情況

(イ) 十二月十五日海防艦占守編入

(ロ) 十二月十八日二二三〇駆逐艦沿風第二七艇固護衛中南西諸

島東方海面ニ於テ敵潜水艦ヲ発見掃蕩ニ向ヒタルマ消息ヲ

絶チタリ敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ケ沈没セルモノト認ム

(ハ) 十二月二十日〇九一五駆逐艦芙蓉第七八二艇固護衛中菲島

西方海面ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ケ沈没セリ

(ニ) 十二月二十五日第三號哨戒艇第三十六號哨戒艇ハ當隊ノ指

(ホ)

揮下ヲ離レ第二十二特別根據地隊ニ編入サレ  
入渠木修理工事実施ノタメ行動セザリシ艦艇

艦艇名	期 間	場 所	主ナル工事ノ名稱
汐風	前月ヨリ 至十二月六日	横須賀海軍工廠	二番砲撤去・十三糎機銃裝備・蒸気発電器修理・内火器電器檢査
佐渡	前月ヨリ 至十二月十日	佐世保海軍工廠	艇体・兵器・機窗整備ノタメ入渠修理
吳竹	前月ヨリ 至十二月六日	全右	電波探知機・十三糎機銃水中聽音機裝備
哨三六	前月ヨリ 至十二月二日	全右	電波探知機裝備
朝顔	前月ヨリ 至十二月六日	舞鶴海軍工廠	電波探知機・水中聽音機裝備
北京丸	自十二月六日 續行	佐世保海軍工廠	電波探知機・十三糎機銃・水中聽音機裝備
擇捉	自十二月七日 續行	全右	電波探知機裝備
刈萱	自十二月十日 至十二月十七日	全右	電波探知機裝備
眞鶴	自十月十一日 至十二月十六日	全右	艇体・兵器・機窗整備
朝風	自十二月十四日 至十二月二十日	全右	電波探知機裝備

(三)

作戦指導

(イ) 護衛區分ノ變更

「ハラオ」西航路ノ護衛擔任ハ大海指第二九九號ニ依リ  
 解リレタルモ引継ノ關係上大海參機密第一五〇九五七  
 番電ニヨリ十二月末迄當隊ニテ實施セリ  
 (ロ) 東海ニ於ケル當隊護衛實施計畫ヲ左ノ通定メ實  
 施セリ

ノ特令アル場合ノ外昭和十八年十一月一日東海黃海方  
 面海上交通保護ニ關スル協定東海航行管制  
 用基準航路表ニヨルノ外左ニ據ル

哨三六	自十二月十日 至十二月十四日	全 右	艇体兵器機 関整備
吳竹	自十二月十日 至十二月十四日	全 右	艇体兵器機 関整備
汐風	自十二月十日 至十二月十四日	全 右	艇体兵器機 関整備

(ハ)

船団護衛状況

別表第一乃至第九参照

1. 護衛船舶数

四三隻

2. 護衛船団数

七六

3. 船団敵潜水艦遭遇回数

一六回

北(南)航行船団は南西諸島列島線ノ外(内)方航路ヲ選定スルヲ先トシ敵情ニ依リ島嶼間ヲ縫航ス此ノ場合北(南)航行船団列島線ノ内(外)ニ出デタル場合ハ距岸(浅灘)ヨリ概テ五海里以内ヲ接航スルモノトス

2. 南西諸島列島線ヲ屋久島奄美大島沖繩宮古島石垣島ヲ通ズル線トス

3. 特令シ南航行船団ノ集合(発航)地ヲ三池ニ指定スルコトアリ



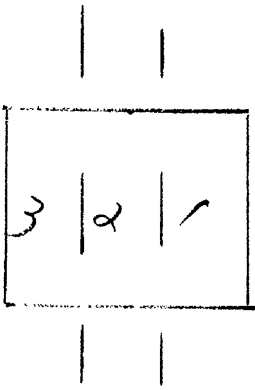
5	4	3	2	1	番艦 艦名
朝	朝	早	吳	若	艦名
顏	風	苗	竹	竹	艦名
10	9	8	7	6	番艦 艦名
	帆	汐	刈	美	艦名
	風	風	萱	蓉	艦名
15	14	13	12	11	番艦 艦名
若	對	擇	松	佐	艦名
宮	馬	捉	輪	渡	艦名

- (二)
2. 艦番號
1. 前月以來、任務續行
  2. 任務編成配備
  3. 同右護衛艦船數ニ對スル百分比 一四二%
  4. 同右護衛艦船數ニ對スル百分比 二一。五%
  5. 敵潜水艦撃沈隻數 十シ
  6. 艦船被害數 六隻

5841

20	19	18	17	16
		占	三	千
		守	完	珠
25	24	23	22	21
華 山 丸	第 三 號 哨 戒 艇 <small>縮根入</small>	第 三 號 哨 戒 艇 <small>附青</small>	友 鶴	眞 鶴
30	29	28	27	26
	波	沼	長	北
	風	風	壽 山 丸	京 丸

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>68年 9 月 24 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 金沢悦夫 (印)</p>	

Jap

1584

三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	船			
			ン	バ	ク	ツ	リ	バ				竹	若		
			司	門			(理	修)	保	世	佐	竹	吳		
		(五=二)				雄				(七=一)		風	朝		
		入				鶴			舞			顔	朝		
		(七七八)		ラ	ニ	マ		(二〇三三)	ラニマ		(〇八七)	荅	笑		
		保	世	佐			(丁時臨)		雄		高	萱	川		
		(練訓独單)	訓	西	津	内	(單)	連	六	(單)		(理修渠入)	賀	須	横
				賀				須				風	汐		
				保				世				風	帆		
		(七四四)						ク	ツ	マ	ジ	ン	サ		
		保	世	佐							(三三二)	輪	松		
				司	門				(4時臨)		雄	高	(4時臨)		
		(固分二第三二)		(蕩掃潜敵)		雄	高		(1時臨)		(〇八七)	珠	干		
		(練訓独單)		毎	内		(五〇七二)					賀	須	横	
		保	世	佐							雄	高	(4時臨)		
		ラニマ					(四二二)					鶴	真		
							(一八七)		雄	高		公	馬		
		オ		ラ	パ				(二六二)		(蕩掃潜敵)	(二六二)	二	哨	
				雄	高				(八四)			保	世	佐	
								雄		高		(四四四)		六十三哨	
												(三三二)		丸山華	
		世										(六四四)		丸山京北	
		楡												クツマジンサ	
		高							(九一)		司	門		風	沼
		ン	カ				(固分一三三七)		雄	高		(固分一三三七)		風	波

(四) 夔下艦部隊ノ行動

1584 1585 1586 1587 1588 1589 1590 1591 1592 1593 1594 1595 1596 1597 1598 1599 1600

三	三	二	二	九	六	七	六	五	四	三	二	二						
			ラ	ニ	マ			(三六二)										
(二二)				准	高	(濠掃潜敵)		(〇八一)				(〇一一)						
(七二七)				(事ニ備装機知探波電)				保	世	佐	(學)							
				理		修				渠		入						
					(二八七)			推		高		(七七八)						
				(二二)						(理	修)	保	世	佐				
			推	高	(一一)					司	明	(練訓)	渠					
			(	理		修		渠		入		)						
				(	理		修	渠		入		)						
			高		(濠掃潜敵)							保	世					
			修															
			昭		(五二七)			推	高	西		(五二七)						
					(濠掃潜敵)			南	昭			(四二二)						
				司	明			吳				(練訓)						
				南	昭													
				(二二)						(理	修)	保	世	佐				
			准	高	(濠掃潜敵)			推	高			(八七八)		ラ	ニ	マ		
			ン	パ	ク	ツ	リ	バ								オ		
			(	理		修)		保	世	佐		(六二二)						
			昭		(三三五)			ク	ツ	ヤ	ジ	ン	サ			(四四三)		
			理			渠		入								保	世	
				公		馬				(六四四)			林		榆			
										(七二二)			推		高			
			(〇五四)										ク	ツ	ヤ	ジ	ン	サ
																		(學)

	三	〇	九	六	七	六	五	四	三	二	一	〇	二
備考	ンババクツリバ												ラニ
			(理修儀信探)保世佐										雅
	(五二)	雄高	(薄掃潜敵)		雄高					(七二七)			(
復線		(五二)	司門	(單)									(
八			(〇三二)			雄高							(二二)
航海中		(理修)保世佐	(單)				(九二二)				海高		
中											(理		
護	(九二〇)	司門	(練訓諸沖尻田)		司門	(單)							
衛			(七二七)	(薄掃潜敵)	(七二七)			雄高					八五
在						(理修							
勢		(六二七)				南		昭					
從事中		(四二七)	雄高										
リ	雄高		(薄掃潜敵)				(三二一)						司
ス	雄高		(薄掃潜敵)				(〇二十)						南昭
	ラニマ		(四二七)		雄高								(二二)
	雄高		(〇八八)		ラニマ		(三八七)						雅
			(四一六二)								ンババクツリバ		
	雄高		(四二一)								(理修)		佐
	クツヤジ		(六四六)			南		昭					(
						(理修							渠
	ン		(八四三)		雄高	(單)					公		馬
		(〇二十)		雄高									(五四)

二 人員ノ現状

(一) 司令部

主要職員官氏名

第								
職	司令官	参謀長	参謀	副参謀官	兼務参謀	連絡参謀	兼司令部附	右
主務			全 殿 (首席参謀)	通信情報 (通信参謀)	工補作給救難 (補給参謀)	部外トノ連絡	陸軍トノ連絡	港務及連絡
官	中將	少將	中佐	少佐	中佐	少佐	大佐	右
氏名	中島寅彦	堀江義一郎	魚住頼一	岩淺恭助	伊勢貞一	原道男	堀江芳孝	中島千尋
記事							三日 GKEg 参謀	石井二郎

上						海						
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	司令部附	兼司令部附
川宣乘艦指定	幕僚附兼分隊長	幕僚附兼掌通信長分隊長	幕僚附兼掌航海長分隊長	汐風乘艦指定	掌經理長兼掌衣糧長分隊長	哨二乘艦指定	哨三十六乘艦指定	庶務主任	幕僚附	醫務衛生	會計經理	港務及連絡
少尉候補生	"	"	兵曹長	少尉	中尉	中尉	大尉	大尉	大尉	大尉	主少佐	大佐
伊藤孝一	原好光	安岡 仡	本村寅雄	宮原安男	魚 鉄藏	通 登	吉村 司	河内山 一夫	阿久根耕平	眞玉三治郎	白川 次	清宮善高
						石 司	二十五日二十二 特根許同日退任					



0521

衛					護							
"	"	"	"	第一運航指揮官	"	"	"	"	"	"	"	司令部附
第十四	第十	第四	第五	第一運航指揮官	吳竹乘艦指定	朝顔乘艦指定	右 同	朝風乘艦指定	右 同	右 同	右 同	川萱乘艦指定
"	"	"	"	大佐	"	"	"	"	"	"	"	少尉補生
大野善隆	樋口通達	赤穴敏一	前澤彌治	竹下志計理	八淵龍二	南口喬	國生健	菊池祥一	新井田康平	豊廣稔	藤木勲	若松祿郎

令		司										隊	
第三方面司令兼 第三方面司令部 附	第四方面司令兼 第四方面司令部 附	第十特別根拠隊附	第三	第八	第十六	第十五	第十三	第十一	第九	第七	第六	第十二	第二運航指揮官
東方面司令	西方面司令												
境	澄信	大佐	中佐	大佐	中佐	大佐	中佐	大佐	中佐	大佐	中佐	大佐	大佐
		細谷義男	加治木智種	山本雅一	細谷資彦	上田泰彦	小豆澤成	宮坂市郎	西尾不二彦	須知幸太郎	山田敏世	後藤鐵五郎	堀内馨
					二十五日補職 三十日着任	十五日補職 二十一日着任	一日補職 九日着任						

艦名	(二) 艦下總員數	區分				合計	記	部
		計	方面部	運輸指揮班	司令部			
士官	一五二	八	九六	四八	八五	三名退部 四名入部 傭人一名傭入	司令部附	
特准下官	五			五				西方面司令附
兵	三			三			東方面司令附	
其他	一二			一二			"	
合計	一八九	八	九六	八五	八五		西方面司令附	
記							東方面司令附	
事							少尉	
							中尉	
							大尉	
							少佐	
							飯淵忠雄	
							佐藤善一郎	
							日高義正	
							成合常太郎	
							折戸傳吉	
							十五日補職 十三日首任	
							十五日退任 十四日退任	

干	對	樺	松	佐	帆	川	笑	朝	汐	朝	吳	若
珠	馬	捉	輪	渡	風	萱	荅	顏	風	風	竹	竹
七	七	五	七	六	六	五	五	五	一〇	六	五	五
六	六	七	六	七	九	六	六	六	五	八	七	七
五二	四三	六〇	六四	七一	五九	三八	四八	四二	五一	五〇	五一	五一
九六	一〇五	八五	七五	七二	七九	七七	七二	八四	一〇四	一一一	九五	七八
一六一	一六一	一五七	一五二	一五六	一五三	一二六	一三一	一三七	一七〇	一七五	一五八	一四一
							二十日沈没					

計	北京丸	長壽山丸	華山丸	哨三六	哨二	友鶴	真鶴	占舟	三宅
一三九	八	六	六	六	七	五	六	六	六
二二九	四	七	六	三	三	七	六	七	七
二一九	五四	六七	八七	五四	五三	四四	四五	二四七(下士官兵)	三五
一七三四	八九	七九	四八	四九	七八	七〇	七六		一一二
八		一	七						
三一九	一五五	一六〇	一五四	一一二	一四一	一二六	一三三	一六〇	一六〇
				二十五日二十ニ特根ニ編入	二十五日二十ニ特根ニ編入			合計ニ合マズ	

SPIT

(別表) 押印

Jp

別表第六

船団護衛状況(パライオ西航路) 昭和十八年十二月 第一海上護衛隊司令部

船団番號	2515												2516																		
護衛艦	哨2(4日迄 26.27)												若竹																		
運航指揮班	ナシ												ナシ																		
船団隻數	6												1																		
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
パライオ																															
位置線																															
バリックパパン																															
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
船団番號	2613												2614																		
護衛艦	若竹												哨2																		
運航指揮班	ナシ												ナシ																		
船団隻數	1												2																		

別表第七

船団護衛状況 (マニラ昭南航路)

昭和十八年十二月 第一海軍護衛隊司令部

船団番號	3302																														
護衛艦	(浦波)芙蓉 (陰中位)																														
運航指揮班	ナ																														
船團隻數	6															2															
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
マニラ																															
位置線																															
昭南																															
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
船團番號	臨																														
護衛艦	ナ																														
運航指揮班	ナ																														
船團隻數	3																														

別表第八

船団護衛状況(馬來直航航路)

昭和十八年十二月

第一海上護衛隊司令部

船団番號	ヒ 23	サ 19	ヒ 25	ヒ 27	ヒ M.29																										
護衛艦	波風	ナシ	對馬	朝風	佐渡																										
運航指揮班	ナシ	ナシ	—	ナシ	ナシ																										
船団隻數	13(内瑞礁進) 5(内高雄進)		6	7(内瑞礁進)	4.2																										
日	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																														
門司																															
位置線																															
昭南																															
日	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																														
船団番號																			高 24	サ 20	ヒ 26	臨									
護衛艦																			千珠(雁)	對馬	對馬	ナシ									
運航指揮班																			ナシ	ナシ	—	ナシ									
船団隻數																			9	4	7	6									



別表第九

船団護衛狀況(特別船団)

昭和十八年十二月

第一海上護衛隊司令部

別表第九

7p

船團番號	臨	臨	臨	臨																												
護衛艦	十	十	(駆潜9)	(熊野丸)																												
運航指揮班	十	十	十	十																												
船團隻數	4	4	3	2																												
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
位置線																																
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
船團番號	臨	臨														臨																
護衛艦	十	十														十																
運航指揮班	十	十														十																
船團隻數	5	3														3																